

近代英語協会第 38 回大会の実施方針について

—対面式から ZOOM へ—

新年度を迎えました。会員の皆様には、さぞかしご健勝のことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より当協会の活動にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

さて、先日お送りいたしましたニュースレターでは、第 38 回大会について南山大学での開催を目指しつつ、新型コロナウイルスの感染状況しだいでは、zoom を用いた遠隔開催も視野に入れている旨お伝えいたしました。実際、先日まで開催校の石崎先生にご尽力いただき、南山大学での開催の準備を鋭意進めてまいりました。あいにくその後、感染状況は思わしくなく、先日ついに開催地である愛知県にもまん延防止等重点措置の適用が発出される事態に至りました。こうした状況を勘案し、先日、メールによる臨時理事会を開催してこの件を審議しましたところ、日程的に近い他学会が遠隔開催に決めたこともあり、zoom での開催もやむなしとの結論となりました。開催日等の詳細につきましては、そのつど協会 HP およびニュースレター等を通じて会員の皆様にお伝えいたしますので、今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

昨年より始まったコロナ禍のため、当協会および我々研究者の活動は大きく制約をうけることになりました。とりわけ研究者どうしが面と向かって情報交換する場である大会の開催を断念するという事態が長期間続くと、今後、学問の発展という観点からも大きな阻害要因となりかねません。その点からしても、昨年度に続いて本年度もまた大会の対面実施を断念することは、会長としても無念の限りという他ありません。とはいえ昨今の深刻な感染状況では、感染拡大防止の観点から、この措置もいたしかたないことをご理解いただけますと幸いです。遠隔開催に伴い、会員の皆様にご不便をお掛けすることを事務局一同深くお詫び申し上げます。

当協会では zoom を用いた大会の開催は初めてのことになります。事務局一同、会員の皆様に満足いただけるよう、全力で取り組む所存でございますが、なにぶん不慣れなことが多く、多々ご迷惑をおかけすることになろうかと思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。いつかコロナ禍が明けて皆様に直接お会いする機会を心待ちにしております。

2021 年 4 月 19 日

近代英語協会会長 中村不二夫
同 事務局長 前田 満